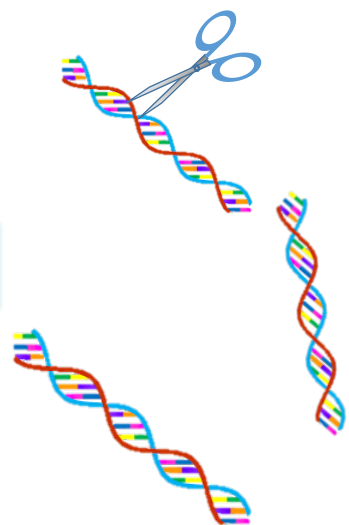


事業間連携公開セミナー（参加無料）

ゲノム編集技術を活用した 農作物・バイオの新たな展開



2019年 **2**月**7**日（木） 13:00~17:00（受付 12:30）

意見交換会 17:30~19:30（会費 3500円 お茶大生協マルシェ 下図・紫矢印）

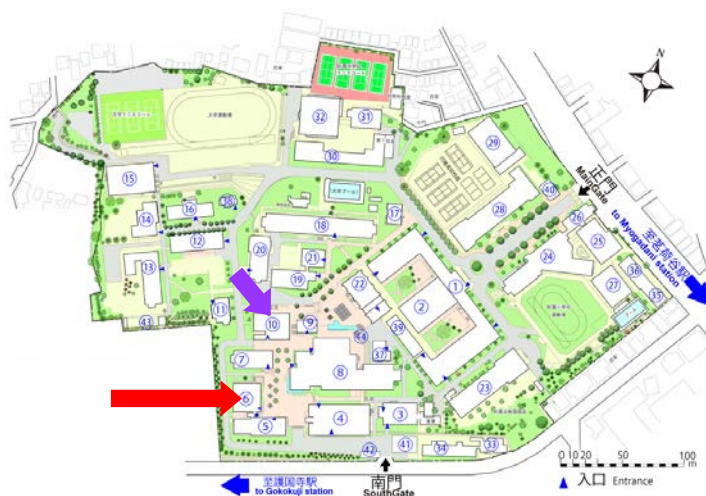
お茶の水女子大学共通講義棟 2号館 201室（下図・赤矢印）

東京都文京区大塚 2-1-1（丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩7分）<http://www.ocha.ac.jp/access/>

平成30年11月末より、第2期SIP（スマートバイオ産業・農業基盤技術）がスタートしました。これまで、第1期SIP（次世代農林水産創造技術）では「新たな育種体系の確立」で4つのコンソーシアムが協同してゲノム編集農作物の開発・実用化を目指してきましたが、その成果を最大限に生かし、更なる精密ゲノム編集基盤技術とその植物への適用技術開発研究を進めてまいります。第1期SIPが終了し、第2期SIPがスタートするというこの節目の時期に、ゲノム編集という技術を農業の出口につなげ、いかに社会実装していくのか、改めて考えたいと思います。

そこで、基調講演にTALENの開発者であるミネソタ大学のDaniel Voytas博士を招き、研究開発と米国企業の取組を紹介していただくとともに、第1期SIPで取組んできたゲノム編集技術開発やその社会実装について紹介し、さらにNEDO事業、JSPS事業、JST（OPERA）事業、AMED事業等の取組の一端を紹介し、わが国のゲノム編集研究のあり方について議論を深めることを目的として公開セミナーを開催します。

ゲノム編集にご興味のある方はどなたでも参加いただけますので、是非ご参集ください。なお、セミナーは英語で行います。



主催：SIP 次世代農林水産創造技術「新たな育種体系の確立」次世代育種技術コンソーシアム

SIP スマートバイオ産業・農業基盤技術「ゲノム情報等の活用による農作物育種の効率化に貢献する精密ゲノム編集技術等の開発」精密ゲノム編集コンソーシアム

共催：NEDO「植物等の生物を用いた高機能生産技術の開発」、JSPS 国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「我が国を拠点とした

実用作物の世界最先端ゲノム編集研究国際ネットワークの構築」、SIP スマートバイオ産業・農業基盤技術「バイオテクノロジーに関する国民理解の増進と技術動向等の調査研究」国民理解コンソーシアム

後援：JST・OPERA「ゲノム編集」産学共創コンソーシアム、AMED 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業

★参加申込み xx148112@affrc.go.jp までセミナー参加者氏名、ご所属、意見交換会への参加希望を e-mail でお送りください。なお、意見交換会へ参加を希望される方は 1/30 までにご連絡ください。

【問合せ先】農研機構生物機能利用研究部門 SIP 次世代育種技術コンソーシアム 廣瀬 junmai@affrc.go.jp

ご来場の際はこの開催案内を印刷して大学正門でご提示ください